

国分寺市にふるさとをつくる会

286号 令和8年1月1日発行

新年あけましておめでとうございます

今年も引き続きご支援賜りたくよろしくお願ひ申し上げます

理事長 大野 政智

新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎えて、いかがお過ごしでしょうか。

国分寺市にふるさとをつくる会は6月を年度の初めとして、半年が過ぎました。この半年、森の自然塾や多摩の自然を楽しく学ぶ会の植物観察会、ふるさとの自然と歴史を訪ねる会の歩く会などの会直轄事業、多摩に歩く会と都市緑化を考える会の歩く会、日吉町町内会の防犯パトロール、防災の街づくり仲間の会の井戸端会議と立川防災館研修などの関連団体の事業について、前半のプログラムを計画通り実施することができました。

一見順調に見えるそれぞれの事業ですが、その内情は、決して平たんなものではありません。昨年まで中心になっていた方々の中に、活動できなくなつた方が多数あり、限られたスタッフで船出をしなければならない状況でした。スタッフの方々には、このような状況の中、東京都の「里山へ Go!」への協力や四小の自然体験学習への講師派遣など、外部からの依頼へも対応いただき、感謝申し上げます。一部のスタッフに負荷が偏る状況にありますが、後半に向けて、新しいスタッフにもプログラムを担当してもらい、経験を積んでもらうよう動き始めています。ふるさとの会全体に目を向けてみると、会員の多くは、会の草創期からの方で、昨年度は約40名の方が退会され、一方で、歩く会などの参加を通じて約10名の方が入会されています。毎月の会報配布や年会費の集金をお願いしている方、活動のスタッフには、草創期からの方が多くいます。だんだん、これらの方々のちからに頼ることが難しくなつてお、対応を迫られています。今までのやり方にこだわらず、陣容に合わせたやり方に変えてゆくことも必要と考えます。また、様々な媒体を使っての広報や声掛けを通じて会員・スタッフの募集を行つてまいりますので、皆様のご支援・ご協力を願い申し上げます。



森の自然塾



多摩の自然を
楽しく学ぶ会

特定非営利活動法人

国分寺市にふるさとをつくる会

理事長 大野 政智

〒185-0011 東京都国分寺市本多 3-6-23

Tel : 080-5074-0367 Fax : 042-321-4357

E-mail: masatomoono@ra2.so-net.ne.jp

1月行事予定

- 5日(月) 防災推進の街づくり仲間の会
井戸端会議 9:30 室内プール前
- 14日(水) 森の自然塾運営会議
9:30 恋ヶ窪公民館
- 15日(木) ふるさとの会合同幹部会議
14:00 恋ヶ窪公民館
- 18日(日) 森の自然塾 9:20 エックス山中央
- 18日(日) 防災推進の街づくり仲間の会
14:00 恋ヶ窪公民館
- 21日(水) 日吉町町内会 定例会
13:30 五小相談室
- 30日(金) 会報配布準備
13:30 恋ヶ窪公民館
- 30日(金) 多摩に歩く会会議(会報配布準備
終了後) 14:15 恋ヶ窪公民館



今年の干支（午年）

清水 みどり

令和8（2026）年の干支（えと）は、丙午（ひのえうま）です。勢い・情熱・決断力が前面に出る運勢で、物事が活発化し易く、低かった意識が一気に湧きあがる年もありそうな年です。暦によると「発展」と「行動力」が重なり、挑戦したことが結果に繋がり易い年とのこと、なんとも心強い。

ひのえうまの女性は気が強いなどと言われ、かつては、縁組も避けられる年ともありました。今はどうなのでしょう。元気な女子を上回るような男子が少なくなったよう

にも見えるのですが。いわゆる“草食系男子”が増え、人口減少が憂慮される今、鶴の一聲で周囲を鎮めた、強い“カミナリ親父”が、懐かしく思われます。

ともあれ、今年は、駿足を持ち、独立心強く、古くから人と深く関わり、様々な場面でいつも助けてくれた「午・馬」の年です。そして勢いとエネルギーに満ち、活動的になる年なのです。世情はともあれ、気力に溢れた一年を、是非とも過ごしたいものですね。



12月 森の自然塾「森のドリームキャッチャー」&「オナモミで魚釣り」

自然塾インストラクター 田中 由美子

寒さが厳しくなる11月、12月、1月、自然塾は室内での活動になります。

プログラム①は「ドリームキャッチャー作り」。ネイティブアメリカンに伝わるお守り（魔除け）で、悪い夢を取り去り、良い夢だけを眠る人に届けるとされています。予め葛の蔓で作っておいたリースに糸を網状に張り、ウッドビーズや鳥の羽根で飾り付けます。それぞれビーズの色や飾り方を工夫して、楽しい作品が仕上がりました。

プログラム②は、初めに動物や人間にひつついで遠くに運ばれる「ひつつき虫」と呼ばれる植物の実や種子について、エックス山で見られる身近な植物を例に、鉤・トゲ等のひつつく仕組みを説明しました。その後は、お待ちかね、魚釣り大会です。まず、各自がエックス山で採取した葉っぱにシールの目をはり、ポスカで鱗など思い思いの絵を描いて魚を作りました。口元にスポンジを貼り付ければ完成。川に見立てた廊下に葉っぱの魚を放し、ひつつき虫の一つであるオナモミの実を針代わりにして作った釣竿で釣り上げます。17匹も釣る猛者もいて、歓声があがりました。



多摩に歩く会「黒目川源流のせせらぎを歩き、紅葉の柳窪の古民家を訪ねる」に参加して

須賀澤 啓子

4月に雨天のため中止になっていた企画でしたので楽しみにしていました。

JR中央線の武蔵小金井駅からバスで45分、氷川神社バス停で下車。柳窪地区へ続く遊歩道には色とりどりの落ち葉が敷き詰められ、まるでふかふかの絨毯の上を歩いている様で、どこか懐かしい気持ちでした。

古くから十数代も続く農家の方からは、自然からの恵みと人間の知恵を合わせて共生してきた武蔵野、東京の名水に選定された湧水がある事や農家は無くてはならないものであることなどお話を伺うことができました。ブルーベリー狩り、野菜の路上販売や移動販売、ジャム等の加工食品、お茶など柳窪に来ていただく工夫もされているとの事でした。

柳窪地区には顧想園などの古民家、蔵や天神社など江戸時代末期から昭和初期に建築された建物と共にその生活も残っていますが、すぐ近くには新興住宅地が広がり、少しずつその面影が消えていく様子には寂しさを感じます。

紅葉も綺麗でしたが春の桜も素晴らしいそうです。またその頃訪ねてみたいと思いました。

「おじさん、この雑木林をなくさないでねって子供達が云うんですよ」と、ガイドして下った守る会の方々が嬉しそうに話して下さったのが印象的でした。



ふるさとの自然と歴史を訪ねる会「東京都埋蔵文化財センター～多摩中央公園」

スタッフ 近江 吉郎

昨年は大阪万博が多くの方で盛り上りましたが、初回の大阪での万博は1970年千里丘陵で開催、千里丘陵には大規模な千里ニュータウンも開発されました。千里の課題を改善し造られた多摩ニュータウンは、商業施設・文化施設・緑や池のある公園が隣接し、休日には親子連れで賑わう素敵な町との印象です。東京の発展に伴う人口増加の受け皿住宅地の役割を果たし、近隣には大学が移転、電車には若者の姿も目立ちます。



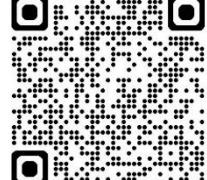
北風の強い師走の12日、訪ねる会には29名が参加、最初に訪れた「東京都埋蔵文化財センター」には、開発で発掘された埋蔵物が年代を追って展示され、推察される火を使い始めた時期や、当時使っていた土器や暮らしぶりについて学芸員の方から丁寧な解説がありました。国分寺市には聖武天皇の詔により武蔵国分寺が建立された歴史があり、その寺の瓦はこの多摩で造られたことも学びました。昼食後古民家を訪れ、大池では水鳥を観察、ふるさとの自然と歴史を楽しく学びました。



環境保全に配慮し、
人に、社会に、地球に
優しい製品及び
サービスを提供します

 **リオン株式会社**
<https://www.ion.co.jp/>

エックスやま
本社はX山に位置します
自然環境保護に賛同
賛助会員 TEL 042-321-5441
国分寺市日吉町4丁目13番2
中央システム技研(株)
代表取締役 川野 誠
(長野県下伊那郡出身)

会報をカラーで
ご覧いただけます




キンクロハジロ